川崎近海汽船

宮古～室蘭開設へ

フェリー航路　トラックからも要望

川崎近海汽船（本社＝東京）は、2018年春に岩手県宮古港と北海道室蘭港（325キロメートル）を結ぶ新たなフェリー航路開設の検討を開始した。

急ピッチで整備が進められている三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の開通により、宮古港から岩手県内各地、仙台、首都圏などへのアクセスが向上すること、ドライバーがフェリー乗船中に継続して8時間の休息が取れるよう、トラック事業者から要望があり、宮古市や室蘭市などの地方自治体もフェリー航路誘致に積極的であるため。

宮古～室蘭を1日1往復、速力20ノットで航海時間10時間、停泊時間2時間。通年運航を予定。ダイヤは未定。

米国ヒューストンに営業拠点を開設

MLG

商船三井ロジスティクス（MLG、本社＝東京）の米国現地法人・MOL Logistics（U.S.A.）Inc.は、テキサス州ヒューストンに新たな営業拠点（Houston Office）を開設し、2日から営業を開始した。

同社はこれまで、同地域の物流ニーズについてはダラス支店で対応してきたが、日系をはじめ多数の企業が進出するのに伴い、ヒューストンにおける物流事業全般の需要が旺盛なことから、取扱サービス拡大を目指し、事務所を開設したもの。

物流C建設に着手

木津運送 京阪奈の配送

木津運送（本社＝京都府木津川市）は今月から、「山城物流センター（仮称）」＝完成予想図＝の建設に着手する。主に近畿地区をメーンに半径200キロ圏内を直配圏に見据える拠点として活用していく。

国道24号沿いで、京奈和自動車道の精華下狛IC、木津IC等へのアクセスがよいことや奈良のストアとして機能する。

これにより、メキシコを含む17カ所となる。

今後は、上発着の航空・輸送、工場立う生産設備や据付搬入作業補助、技術者海外引越など物流サービスる。

4月に展覧会とフォーラム開催

倉庫リノベーション研究会

倉庫リノベーション研究会は、倉庫という既存インフラを活用しながら、将来の芝浦地区を中心としたウォーター・フロントの未来を創造するためのデザインとビジネスモデルを考える場を共有するため、展覧会とフォーラムを開催する。

MAKE ALTER NATIVE TOWN展は4月16～22日に建築会館ギャラリー（港区芝）で開催。入場無料。出展建築家は畝森泰行氏、久保秀朗氏、中川エリカ氏、中村真広氏、松井亮氏。イーソーコ総合研究所、プラス・ジョインテックスカンパニーなど協賛。

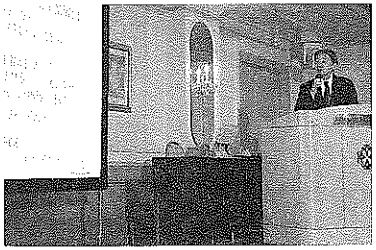
フォーラムは4月16日午後6時～8時、入場無料（事前登録制）。定員100人。プログラムは講演（池田浩太リソーコ社長）、出展建築家によるプレゼンテーション、オープニングパーティ。問い合わせは電話03（5441）1237。

芝浦地区は、リノベーションの可能性を秘めた倉庫が残り、羽田空港と東京駅の中間に位置し、山手線の新駅計画、リニア中央新幹線の東京都ターミナル駅計画、アジアヘッドクオーター特区計画などがあり、ウォーター・フロントを挟んで東京五輪のベイ・ゾーンと向かい合う。

アジアを軸とした事業展開を加速

阪急阪神エクスプレス グローバル戦略会議開催

阪急阪神エクスプレス（本社＝大阪市）は5日・6日の両日、グローバル戦略会議「阪急阪神カーゴカンファレンス（HHCC2015）」を都内のホテルで開催。世界五極から極総支配人・海外現地法人責任者などが一堂に会し、今後の方針や施策を協議した。



基調演説を行う岡藤社長

冒頭の基調演説で岡藤正策社長は、グループの成長戦略「V2025」実現に向けた基盤整備の最終年度、「アジアを軸とした事業展開のスピードアップに全社を挙げて取り組んでいくとともに、IT基盤整備や営業体制再構築、総合管理体制の深化を進めていく」方針を語った。

続いて2015年度の基本的な取り組みについての発表を2日間にわたり実施。

「2014年度国際輸送コア表彰」の表彰式で、阪急阪神エクスプレスグループにおける14年度国内外の活動から、特に優れた効果を上げたものとして6つの取り組みが表彰された。

北米の販売会社を完全子会社化

ユニキャリア

ユニキャリア（本社＝東京）の100％子会社UniCarriers Americas（同＝イリノイ州マレンゴ、UCA）は、直販ビジネスを強化するため、Capital Equipment&Handling（同＝ウィスコンシン州ハートランド）を完全子会社化することで、2日に株式譲渡契約を締結した。

ユニキャリアにとって静岡ユニキャリア販売（14年1月）、オランダのCrepa B.V.（同2月）、米国のNew England Industrial Truck（同8月）に続く、4社目の買収となる。

UCAは、TCMと日産フォークリフトの統合に伴い13年に統合しており、北米市場では第5位のフォークリフトメーカー。

ロジスティクス部門を一部集約

伊藤忠食品

伊藤忠食品（本社＝大阪市）は4月1日付で組織改革を行い、ロジスティックス企画部を「ロジスティクス統括部」に改称した上で、同じ営業統括本部にある広域第一営業本部および広域第二営業本部の「ロジスティックス部」をそれぞれ廃止する。

なお、広域第一営業本部にあるCVSロジスティクス部（CVSロジスティックス部）はそのまま。

海外事業本部などを新設

日立物流（本社は4月1日を行い、本社ル経営戦略本部を改編し、括本部を新設はグローバル開発部、海外を置く。また本部を新設